

NY マーケットレポート（2014 年 4 月 14 日）

昨晚の NY 外国為替市場は、序盤に発表された米小売売上高が 2 ヶ月連続でプラスとなり、2012 年 9 月以来 1 年半ぶりの大きな伸び率となったことを好感して、ドル円・クロス円は堅調な動きとなりました。その後、利益確定の円買い戻しの動きや、堅調な展開が続いた株価が上げ幅を大きく縮小する動きとなったことを受けて、ドル円・クロス円は軟調な動きとなりました。終盤には、株価が再び堅調な動きとなったことから、値を戻す動きとなっております。ユーロは、ドラギ ECB 総裁が先週末に「ユーロが一段と上昇した場合には金融政策による追加の景気刺激が必要になる」との認識を示したことが引き続き圧迫材料となり、大半の主要通貨に対して軟調な展開が続きました。

2014/ 4/14 (月)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	101.60	101.69	101.42
EUR/JPY	140.73	140.90	140.42
GBP/JPY	169.99	170.20	169.60
AUD/JPY	95.47	95.61	95.12
EUR/USD	1.3852	1.3864	1.3835

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	101.80	101.57
EUR/JPY	140.76	140.51
GBP/JPY	170.22	169.90
AUD/JPY	95.76	95.41
EUR/USD	1.3854	1.3816

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	13910.16	-49.89
ハンセン指数	23038.80	+35.16
上海総合	2131.54	+1.00
韓国総合指数	1997.02	-0.42
豪ASX200	5358.95	-69.70
インドSENSEX指数	22628.96	-86.37
シンガポールST指数	3214.83	+16.61

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6583.76	+22.06
仏CAC40	4384.56	+18.70
独DAX	9339.17	+23.88
ST欧州600	329.79	+1.02
西IBEX35指数	10188.20	-17.20
伊FTSE MIB指数	21314.56	+115.77
南ア 全株指数	48213.26	+180.85

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	101.85	102.02	101.67
EUR/JPY	140.74	140.92	140.45
GBP/JPY	170.36	170.52	170.05
AUD/JPY	95.94	95.99	95.66
NZD/JPY	88.44	88.44	88.08
EUR/USD	1.3820	1.3832	1.3808
AUD/USD	0.9422	0.9426	0.9402

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	16173.24	+146.49
S&P500	1830.61	+14.92
NASDAQ	4022.69	+22.96
その他主要株	終値	前日比
カナダトロント総合	14284.43	+26.74
ブラジルボルサ指数	40530.69	+149.90
ロシアモスクワ指数	51596.55	-270.74

4/15 経済指標スケジュール

08:01	【英】3月BRC小売売上高
10:30	【豪】豪中銀議事録
13:00	【日】3月首都圏新規マンション発売
14:00	【シンガポール】2月小売売上高
15:00	【日】3月工作機械受注
16:00	【トルコ】1月失業率
16:15	【スイス】3月生産者輸入価格
17:30	【英】2月ONS住宅価格
17:30	【英】3月消費者物価指数
17:30	【英】3月小売物価指数
17:30	【英】3月生産者出荷価格・生産者仕入価格
17:30	【英】3月生産者物価指数【コア】
17:30	【英】3月消費者物価指数
18:00	【欧】【独】4月ZEW景況感調査
18:00	【欧】2月貿易収支
21:30	【カナダ】2月製造業出荷
21:30	【米】3月消費者物価指数
21:30	【米】4月ニューヨーク連銀製造業景気指数
22:00	【米】2月対米証券投資
22:00	【カナダ】3月中古住宅販売件数
23:00	【米】4月NAHB住宅市場指数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1327.50	+8.50
NY 原油	104.05	+0.31
CMEコーン	503.00	+4.50
CBOT 大豆	1476.25	+13.25

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.37%	0.36%
3年債	0.83%	0.80%
5年債	1.61%	1.58%
7年債	2.19%	2.16%
10年債	2.65%	2.63%
30年債	3.49%	3.49%

4/15 主要会議・講演・その他予定

- ・フィラデルフィア連銀総裁 講演
- ・ミネアポリス連銀総裁 講演
- ・イエレンFRB議長 講演

(出所:SBILM)

NY 市場レポート

21:00

ドル/円 101.79 ユーロ/円 140.76 ユーロ/ドル 1.3828

21:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6540.53	-21.17	ダウ INDEX FUTURE	15998	+17
仏 CAC40	4350.20	-15.66	S&P500 FUTURE	1814.30	+2.60
独 DAX	9274.20	-41.09	NASDAQ FUTURE	3449.75	+5.75

(出所:SBILM)

21:00

《米企業決算》

米シティグループ

第1四半期 調整後1株利益 1.36 ドル (予想 1.14 ドル)

21:03

《経済指標の結果》

3月ポーランド・マネーサプライ M3 (前月比) 1.1% (予想 0.7%・前回 0.6%)

3月ポーランド・マネーサプライ M3 (前年比) 5.1% (予想 4.8%・前回 5.2%) 前回発表の 5.3% から 5.2% に修正



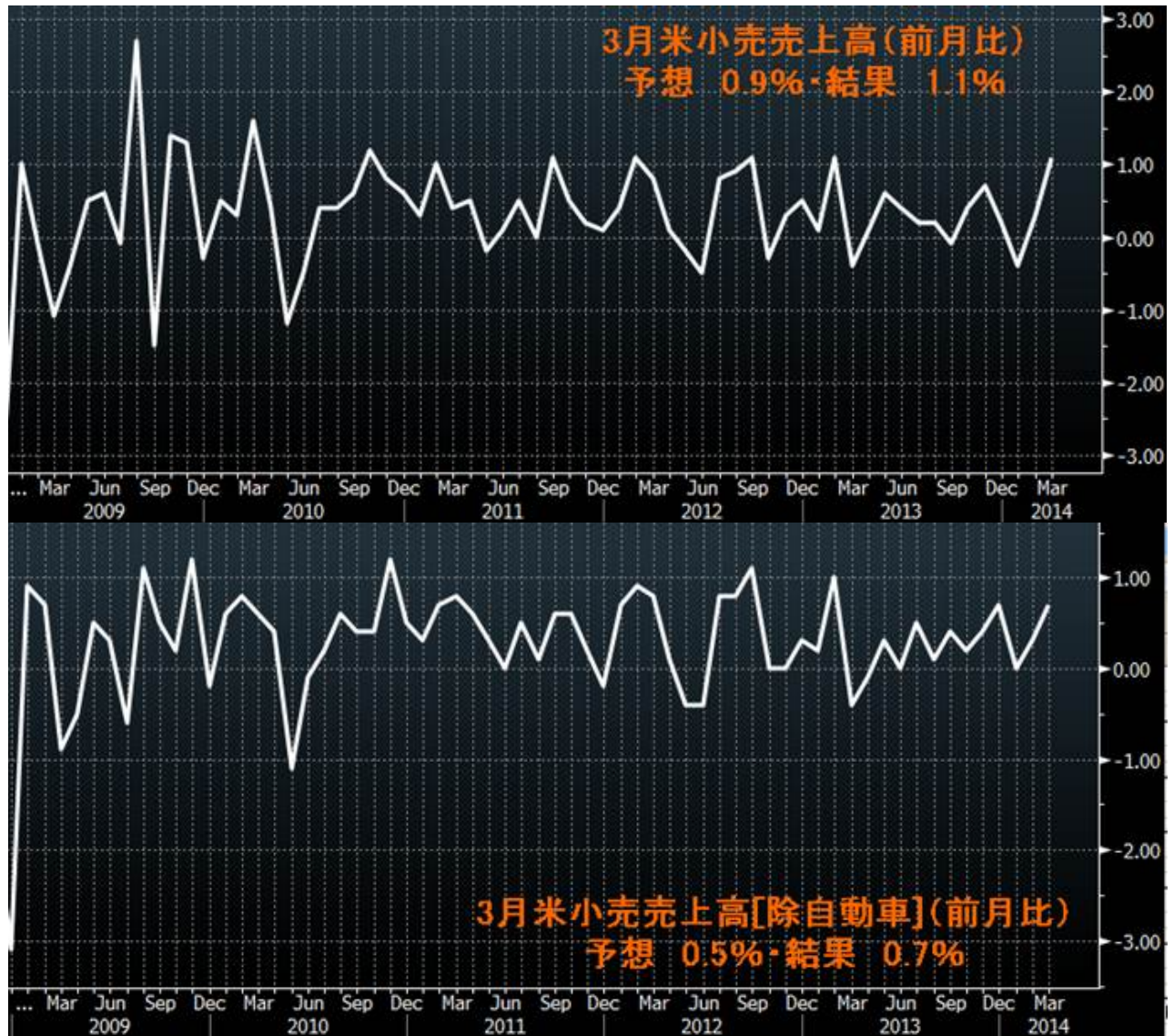
(出所:ブルームバーグ)

21 : 30

《 経済指標の結果 》

3 月米小売売上高（前月比） 1.1%（予想 0.9%・前回 0.7%）前回発表の 0.3%から 0.7%に修正

3 月米小売売上高[除自動車]（前月比） 0.7%（予想 0.5%・前回 0.3%）

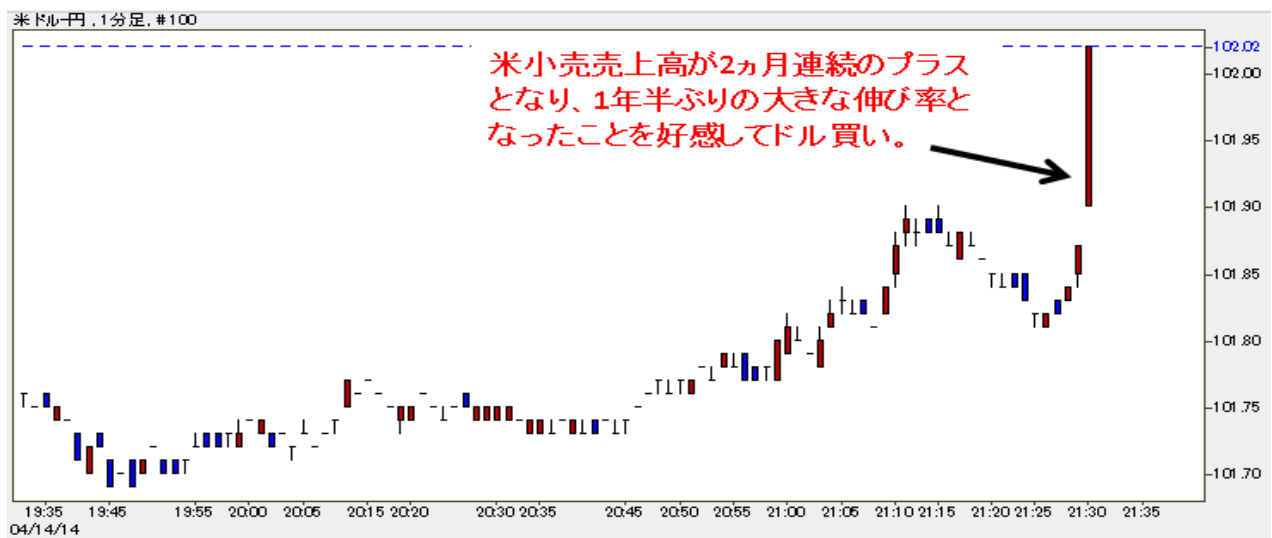


(出所:ブルームバーグ)

指標結果データ 《米小売売上高》

	3月	2月	1月	12月	11月	10月	前年同月
小売売上高	1.1	0.7	-0.6	-0.3	0.3	0.5	2.6
除く自動車	0.7	0.3	-0.3	0.1	-0.2	0.4	1.0
自動車・部品	3.1	2.5	-2.4	-2.1	2.0	1.0	9.1
建設資材等	1.8	-0.6	1.2	-0.1	0.9	-2.1	5.7
食品・飲料	0.2	-0.2	0.1	1.7	-0.2	0.0	3.0
総合小売店	1.9	-0.1	0.0	-0.7	-0.1	0.2	1.9
大規模小売店	0.5	0.8	-2.1	-1.2	0.1	0.6	-3.4
その他小売店	-1.3	-0.7	-0.4	-1.6	0.2	0.6	-1.7

(前月比%)



(出所: ネットダニアー)

22 : 00

《 経済指標の結果 》

3 月カナダ住宅価格指数（前月比） 0.0%（前回 0.3%）

3 月カナダ住宅価格指数（前年比） 4.6%（前回 5.0%）



(出所:ブルームバーグ)

《 NY 外国為替市場 序盤 》

序盤の外国為替市場は、3 月の米小売売上高が市場予想を上回ったことを受けて、ドルを買って円を売る動きが出たものの、値動きはやや限定的となっている。

22 : 33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	16115.57	+88.82
ナスダック	4035.54	+35.81

(出所:SBILM)

22 : 58

《 要人発言 》

ルー米財務長官

- ・「米国と同盟国、対ロ制裁強化の用意」
- ・「10 億ドルの対ウクライナ債務保証に署名し話した」

23 : 00

《 経済指標の結果 》

2 月米企業在庫（前月比） 0.4%（予想 0.5%・前回 0.4%）



(出所:ブルームバーグ)

指標結果データ

《米企業在庫》

	2 月	1 月	12 月	11 月	10 月	前年同月比
企業在庫	0.4	0.4	0.5	0.4	0.8	4.2
製造業	0.7	0.2	0.5	0.1	0.0	2.5
小売業	0.0	0.3	0.7	0.8	1.1	5.7
自動車・部品	-0.3	-0.5	1.0	1.3	3.0	10.4
卸売業	0.5	0.8	0.4	0.5	1.3	4.7

	2 月	1 月	12 月	11 月	10 月	前年同月比
企業売上	0.8	-1.1	0.0	0.7	0.5	1.8
製造業	0.9	-0.7	-0.3	0.8	0.1	0.8
小売業	0.7	-0.7	-0.2	0.2	0.4	1.6
卸売業	0.7	-1.8	0.4	1.0	1.0	3.1

23 : 30

《 NY 株式市場 序盤 》

序盤の株式市場は、3 月の米小売売上高が市場予想を上回ったことや、金融大手の四半期決算が好調だったことを好感した買いが入るなど、主要株価は堅調展開が続いている。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時前週末比 106 ドル高まで上昇している。

23 : 40

《 要人発言 》

ノワイエ仏中銀総裁（ECB 理事会メンバー）

- ・「ユーロが上昇すればその分行動の必要性が高まる」
- ・「ECB は行動の用意」

《 経済指標のポイント 》

(1) 3 月の米小売売上高は、前月比+1.1%の 4339 億 700 万ドルと 2 ヶ月連続でプラスとなり、2012 年 9 月以来 1 年半ぶりの大きな伸び率だった。前年同月比は+3.8%となった。主力の自動車・同部品が大きく伸びたほか、総合小売り、建材・園芸などの増加が全体を押し上げた。変動が大きい自動車・同部品を除く売上高は前月比+0.7%、前年同月比は+2.6%。

①品目・業種別では、自動車・同部品が+3.1%で 2012 年 9 月以来の大きな伸び率、総合小売りは+1.9%で 2007 年 3 月以来の高い伸び率。服飾は+1.0%、家具・装飾は+1.0%、食品・飲料は+0.2%となった。一方、ガソリンスタンドは-1.3%、電子・家電は-1.6%とマイナスが続いた。

②昨年 12 月、今年 1 月と寒波の客足への影響などから減少したが、緩やかな経済成長と雇用改善を背景に回復基調を強めている。

(2) 2 月の米企業在庫は、前月比+0.4%の 1 兆 7156 億 500 万ドルとなった。前年同月比は+4.2%だった。

①業種別では、製造業が前月比+0.7%、卸売業が 0.5%、小売業は横ばい。自動車・同部品を除く小売業は+0.2%増加した。

②小売業の内訳は、家具が+2.8%、建材・園芸用品が+0.1%、食品・飲料が+0.3%となった。一方で自動車・同部品は-0.3%、衣料品は-0.7%、総合小売りは-0.2%となった。

(3) 企業売上高は、前月比+0.8%の 1 兆 3117 億 6600 万ドル、前年同月比は+1.8%となった。

①業種別は、製造業が+0.9%、卸売業+0.7%、小売業が+0.7%となり、在庫に対する売上高の比率は前月から横ばいの 1.31 となった。

0 : 20

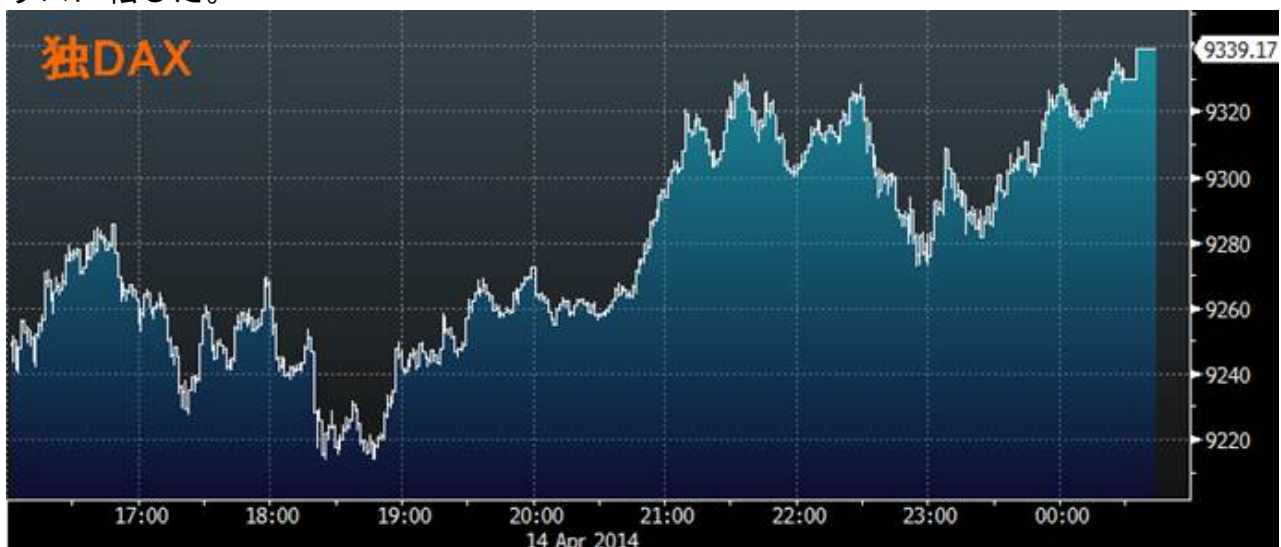
FRB は、ニューヨーク連邦準備銀行を通じた公開市場操作により、10.2 億ドルの米長期国債の買い取りを実施した。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6583.76	+22.06
仏 CAC40	4384.56	+18.70
独 DAX	9339.17	+23.88
ストック欧州 600 指数	329.79	+1.02
ユーロファースト 300 指数	1319.46	+6.54
スペイン IBEX35 指数	10188.20	-17.20
イタリア FTSE MIB 指数	21314.56	+115.77
南ア アフリカ全株指数	48213.26	+180.85

(出所:SBILM)

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、ウクライナ情勢の緊迫化への警戒感から売りが先行した。その後は米小売売上高が市場予想を上回ったことを受けて投資家心理が改善し、主要株価はプラスに転じた。



(出所:ブルームバーグ)

1 : 00

米主要株価・中盤

ダウ 16139.46 (+112.71)、S&P500 1832.79 (+17.10) ナスダック 4038.14 (+38.41)

《 NY 債券市場 ・ 午前 》

午前の債券市場は、3月の米小売売上高が市場の予想以上に増加したことを受けて、安全資産とされる米国債を売る動きが先行した。また、米国株の大幅上昇も投資家のリスク志向を後押ししたことも圧迫材料となった。

午前の利回りは、30年債が3.49%（前週末3.49%）、10年債が2.65%（2.63%）、7年債が2.19%（2.16%）、5年債が1.61%（1.58%）、3年債が0.83%（0.80%）、2年債が0.37%（0.36%）。

《欧州のポイント》

- ①フランスのサバン財務相は、われわれの目標は財政赤字を削減することだ」と述べ、2015 年度予算では、財政赤字が対 GDP 比 3%を超えないことを前提として策定すると述べた。欧州委員会やユーロ圏各国財務相はフランスに対し、EU が定める財政赤字の基準を順守するよう求めている。フランスのヴァルス首相は、EU 基準を順守すると表明しているが、2013 年の財政赤字の対 GDP 比は 4.3%を記録しており、多くのエコノミストは 2015 年の赤字削減目標の達成に懐疑的な見方を示している。
- ②ギリシャ銀行最大手ナショナル・バンクは、自己資本増強に向け、増資を実施する計画であると。銀行筋 2 人が明らかにした。同行はギリシャが受けている国際支援の条件に基づき、21 億 8000 万ユーロ（30 億 3000 万ドル）の不足資金を手当てする必要があるが、従来はコスト削減や非中核資産の売却で対応するとして増資の可能性を否定していた。
- ③ギリシャ中央政府の第 1・四半期のプライマリーバランスは、16 億ユーロ（22 億 2000 万ドル）の黒字となったとスタイクラス財務次官が明らかにした。黒字幅は、前年同期のおよそ 3 倍で、暫定目標の 8 億 7800 万ユーロも大きく上回ったとしている。

《海外の話題》

WTO（世界貿易機関）は、2014 年の世界貿易の伸び率予想を小幅に上方修正し、4.7%としたと明らかにした。ただ、過去の平均的な水準である 5.3%に回復するのは 2015 年になるとみている。事務局長は記者会見で、「GDP 予想が正しいのならば、2014 年に世界貿易総量は、緩やかながらも幅広い回復を示し、2015 年には一段と増加傾向が鮮明になるとわれわれは予想する」と述べた。

《ポイント》

4 日の CDS（クレジット・デフォルト・スワップ）市場で、ロシアの債務保証コストが 3 週間ぶりの高水準に上昇した。ウクライナ情勢をめぐる緊張の高まりが圧迫要因となっている。ロシアの期間 5 年の CDS スプレッドは 17bp 拡大し、240bp となった。

3 : 45

NY 金は、中心限月が前週末比 8.50 ドル高の 1 オンス＝1327.50 ドルで取引を終了した。

4 : 20

NY 原油は、中心限月が前週末比 0.31 ドル高の 1 バレル＝104.05 ドルで取引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1327.50	+8.50
NY 原油	104.05	+0.31

（出所：SBILM）

《 NY 金市場 》

NY 金は、ウクライナ情勢の緊張を背景にした投資家のリスク回避で比較的安全な資産とされる金を買われた。ただ、3 月の米小売売上高が市場予想を上回ったことをきっかけに売りが出て、上げ幅が縮小する場面もあった。終値ベースでは、3 月 21 日以来、約 3 週間ぶりの高値水準となった。



(出所:ブルームバーグ)

《 NY 原油市場 》

NY 原油は、米小売売上高が市場の予想以上に伸びたことで、米景気の回復に伴うエネルギー需要の増加期待が強まり、買いが優勢となった。ウクライナ情勢をめぐるロシアと欧米との対立を背景に、ロシア産原油の供給不安が広がったことも支援材料となった。終値ベースでは、3 月上旬以来、約 1 ヶ月半ぶりの高値水準となった。



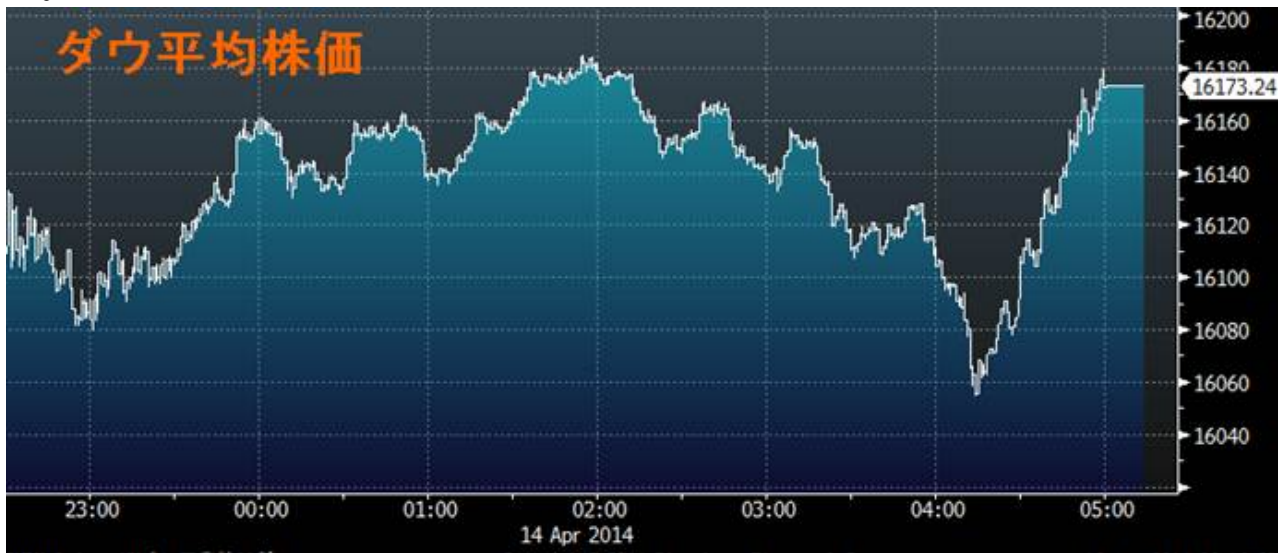
(出所:ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	16173.24	+146.49	14184.76	16028.29
S&P500 種	1830.61	+14.92	1834.19	1815.80
ナスダック	4022.69	+22.96	4050.79	3986.50

(出所: SBILM)

《米株式市場》

米株式市場は、3月の米小売売上高が市場予想を上回ったことや、金融大手の四半期決算が好調だったことを好感した買いが入るなど、主要株価は堅調な展開が続いた。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時前週末比158ドル高まで上昇する動きとなった。その後、一時上げ幅を縮小したものの、引けにかけては再び堅調な動きとなった。



(出所: ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	101.85	102.02	101.67
EUR/JPY	140.74	140.92	140.45
GBP/JPY	170.36	170.52	170.05
AUD/JPY	95.94	95.99	95.66
NZD/JPY	88.44	88.44	88.08
EUR/USD	1.3820	1.3832	1.3808
AUD/USD	0.9422	0.9426	0.9402

(出所: SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、序盤に発表された米経済指標が予想を上回る結果となったことを受けて、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。しかし、その後は堅調な展開が続いた株価が上げ幅を縮小する動きとなると、円を買い戻す動きが優勢となる場面もあった。ただ、終盤には株価が再び堅調な動きとなったことから、ドル円・クロス円も値を戻す動きとなった。



(出所:ブルームバーグ)

提供: SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。